（別添資料1）

事業所名	ファーストベース アカデミー	支援プログラム	作成日	2025 年	3 月	31 日

法人（事業所）理念		私たちは、一人ひとりの子どもが持つ可能性を最大伝に引き出す支援を目指します。学びを通して自己肯定感を育み、将来の自立や社会参加に繋がる力を養う環境を提供します。子どもたちの特性や個性に寄り添いながら、保護者や地域社会と連携し、安心して成長できる場所を創り上げていきます。			
支援方針		私たちは、一人ひとりの子どもの学びへの意欲と自身を育む支援を大切にしています。個々の特性や成長段階に応じた学習プログラムを提供し、達成感を積み重ねることで、自己肯定感を高める環境を整えます。また、保護者や学校と密に連携し、子どもが持つ可能性を最大限に引き出すための包括的なサポートを行います。子どもたちが安心して学び、未来に向けて一歩ずつ成長できる場を創造します。			
営業時間		10 時 0 分から 18 時 0 分まで	送迎実施の有無	あり	
		支 援 内 容			
本人支援	健康・生活	個々のニースや目標に応じた柔軟な支援を行い、健康的で安定した生活を支えます。 ・身体のケア【手洗い、うがい、消毒、検温などの習慣づけを支援し、衛生面での健康維持を促進する。】 ・栄養指導【必要に応じておやつの栄養バランスを考慮したり、アドバイスを実施する。水分補給をこまめに促し、健康的な生活リズムを整える。】 ・心の健康支援【個々のストレスに配慮する。気持ちの変化に寄り添い、安心感を提供する環境づくりを徹底。】 ・日常生活動作の支援【着替え・片付け・持ち物の整理整頓および管理などの基礎的な生活スキル習得のサポート。時間を守ることや予定に従う練習を通じて生活リズムを整える。】 ・社会性の向上【集団活動を通じて、コミュニケーションやルールを学ぶ機会の提供。他者との協力や順番を守るなどの社会的マナーの指導。】 ・安全管理【通所時や帰宅時の安全確認を徹底し、交通ルール指導を実施。緊急時の対応や避難訓練を通じて、安全意識を高める。】			
	運動・感覚	運動面、感覚面での支援は、楽しさや安心感を重視しながら、一人ひとりのニーズや特性に合わせて柔軟に行います。 ・基礎体力の向上【ストレッチなど身体を動かせるトレーニングの実施。】 ・感覚過敏、鈍麻への対応【感覚過敏の子には、触れやすい素材の物を用意し、少しずつ慣れる練習を実施。鈍麻の子には心地よい圧を与えるタッチケアや、五感を刺激する体験を提供】 ・リラクゼーションの提供【リラックスできる環境を作り、感覚の過剰な刺激を和らげる。】 ・ビジョントレーニング【視覚認知能力のトレーニング、視線の動きのトレーニング、協調運動のトレーニングなど】			
	認知・行動	認知面、行動面の支援は、個別性を尊重しながら、子どもたちが自己成長を実感できる環境を提供することを目指します。 学習能力の向上【個々の理解度や、学習ペースに応じた教材や課題を提供し、達成感を得られる学習支援の実施。注意力を高めるトレーニング（パズルや記憶力ゲームなど）を取り入れ、集中力を育成。】			
	言語 コミュニケーション	語彙力・会話力の育成（絵カード、ロールプレイ、言葉あそび） リスニングと発音支援（音読・質問応答・会話練習） グループ活動での対話練習（ルールある遊び、集団制作）			
	人間関係 社会性	挨拶やマナーの習得（ありがとう、ごめんなさい等） 協調性を育てる活動（グループゲーム、係活動）トラブル対応の練習（話し合いの練習、気持ちの伝え方） リーダーシップ・役割経験（リーダー、サポーター役体験）共感性の育成（ストーリーワーク、感情の分かち合い）			
家族支援		連絡帳や写真で日々の様子を共有 定期面談・個別相談による保護者との連携強化 家庭内支援のアドバイス提供（学習・生活リズム等） 学校・支援機関との連携による一貫支援	移行支援	小学校から中学校、中学校から高校への移行サポート 進路相談や将来の目標設定を支援 交通機関の利用練習、金銭管理練習などの生活準備	
地域支援・地域連携		地域イベントや施設（公民館等）との連携活動 学校・行政・支援機関と連携し地域に根ざした支援を提供	職員の質の向上	スタッフミーティングでの支援検討・情報共有 外部研修・事例検討会の定期実施 資格取得支援制度・キャリアアップの仕組みあり	
主な行事等		4月：お花見・自己紹介ゲーム 夏休み：クッキング体験・自由研究・夏祭り 10月：ハロウィン制作&パーティー 12月：クリスマスイベント・大掃除 1月：書き初め			